



春雨の中、幽玄の絵物語再現

第11回あいの土山斎王群行



平安時代、京都から伊勢神宮に向かった斎王の行列の再現「あいの土山斎王群行」が3月30日、大野小学校で行われました。

京都から伊勢までの道中の宿泊所だったとされる垂水斎王頓宮跡がこの地にあることにちなみ再現された行列、今年で11回目を迎えました。

斎王には甲賀町・廣岡弘美ひろおかひろみさんが選ばれ、女人列など約80人による禊ぎや舞が披露されました。

当日はあいにくの雨模様で、途中から屋内での開催となりましたが、彩り鮮やかな衣装で雅の平安絵巻の世界が繰り広げられました。



【写真】

- ①夢の小川での禊ぎ式
- ②神輿に乗っての群行
- ③お発ち式であいさつを述べる中嶋市長
- ④華やかな道中舞
- ⑤呈茶の儀

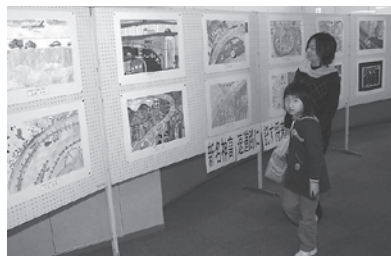
新名神高速道路の開通により、企業誘致や観光など多方面での効果が期待される中、甲南インターチェンジが来春開通します。

3月29日、甲南町観光協会主催の新名神甲南IC活性化プロジェクトが行われました。

忍の里プララでは、シンポジウムが行われ、嘉田滋賀県知事の基調講演やパネルディスカッションが行われ、約300人が聴き入りました。

ロビーでは、新名神開通に伴う将来の夢をテーマに、小中学生の作文と絵画が展示され、甲南庁舎裏からは、新名神をヘリコプターで見るイベントも催されました。

また、忍の里プララでは、忍者の里にちなみ、忍者検定が行われ、全国の忍者マニアが集まり知識を競いあいました。



▲私たちの将来の夢



▲甲南PA上空

地域の個性を新名神で発揮
新名神甲南IC活性化プロジェクト